

平成30年度北海道地域学校協働活動推進管内別協議会（後志会場）事業報告書

本協議会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動等の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

- 日 時：平成30年8月24日（金）
- 会 場：後志教育研修センター
- 参加者：17名

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾、の各事業で活動している方、教職員、PTA、ボランティア活動を行っている方、北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方等

■日 程:

	1000	1010		1030		1100	1115		1155
	受付	開会	説明	演習1	休憩	演習2	閉会		



開会式の様子

【説 明】「地域学校協働活動について」

北海道教育庁後志教育局教育支援課社会教育指導班主査 河村 武司

地域学校協働活動に関わる国の動向、関連する北海道の事業及び今後の方向性について説明しました。管内の現状については、地域学校協働本部の設置は進んでいない状況ですが、現在実施している放課後子供教室、土曜日等の外部人材を活用した事業、学校支援活動等をつなげ、包括的に学校と地域が連携・協働するために、地域学校協働本部の設置・活動の充実を図る必要があることを説明しました。



説明の様子

【演習1】「活動中の安全管理」

北海道教育庁後志教育局教育支援課社会教育指導班主査 河村 武司

子どもの活動を指導・運営する立場としてあらかじめ必要な安全管理について、①登下校、②自然災害、③日常の屋外活動、④日常の屋内活動の4つの場合について説明しました。また、ワークシートを基に危険予知トレーニングを行い、危険である様子について確認するとともに、指導者として事前にどのような準備を行う必要があるのか、どのような対応が必要になるのかについて話し合いを行いました。



演習1の様子

【演習2】「簡単なレクリエーションと室内遊び」

北海道教育庁後志教育局教育支援課社会教育指導班社会教育主事（黒松内町教育委員会派遣）
土門 啓二

室内でできる簡単なレクリエーションや遊びについて実際に体験を行いました。活動の目的を意識しながら実施することの大切さについて説明し、手遊びやジャンケン、新聞紙を用いたゲームを、個人活動からペア、グループ活動へと順番に実施しました。

参加者は、活動を行う中で、子どもが安全に活動するために意識すべき事項について意見を交換し、安全に対する意識をさらに高めました。



演習2の様子

【参加者の声】

- 地域と学校の関係をより強いものにしていきたいと感じました。
- 行事を行う際の安全管理について、一層気を付けようと思いました。
- 新聞紙を使ったレクリエーションは楽しく、個人活動から集団活動へとプログラムの変化があったので、今後の活動の中で取り入れてみようと思いました。
- 各町村の放課後子供教室・児童クラブの現状について交流する時間があるとよいと思いました。